

支え合うきよせ委員会（清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体）

第3回 地域資源・ニーズ把握部会（A部会）記録

|     |   |    |              |
|-----|---|----|--------------|
| 日時  | 平成29年7月28日（金）13時～15時  | 場所 | 情報労連東京福祉センター |
| 出席者 | 内田部会長、田中副部会長、阿久津委員、金川委員、田島委員、名古屋委員、福嶋委員<br>生活支援コーディネーター（C○） 鍵和田<br>事務局：田中、吉村、上垣 |    |              |

1 地域団体との意見交換会について

(1) 各団体との調整について

- ・グリーンタウン清戸（下清戸）：仲間会のヤヨタ氏に打診済  
⇒【今後】先方の日程を確認し、A部会委員にメールで連絡。8/21～8/23を軸に調整。
- ・中里地区：鍵和田C○が7月中旬に5つの自治会長を訪問済。中里1、2丁目の段丘面上と、段丘面下で入居・定着時期や、関係性が異なる様子。  
⇒【今後】田島委員や福嶋委員の協力を得て、意見交換会時期をそれぞれ開催する方向で調整。
- ・旭が丘地区：  
⇒【今後】地域のキーパーソンや人間関係に関する情報など、各委員に相談をしながら調整。
- ・信愛の地区内：地域包括支援センター地区毎に1つモデル地区を選ぶこととする。  
⇒【今後】阿久津委員の協力を得て、白梅自治会（梅園）などに打診。

(2) 意見交換会資料（内田部会長提案）について

- ・意見交換会の目標  
地域団体の悩みや困り事をうかがうことで地域課題を明らかにし、具体的な支援策の立案へとつなげていく趣旨を伝える。
- ・支え合うきよせ委員会の委員の役割  
堀田先生が昨年のフォーラムでお話してくださった内容を市民に浸透させていくことが重要。そうした意味で「ミニ堀田」になっていくことが委員会の委員の役割の1つであることを確認。
- ・今後の目標  
現状ではまだ明確ではない為、意見交換会を実施しながら、今後の展開イメージを作る。
- ・「超高齢社会の現状と課題」に記載された統計については、直近のデータを採用する。

2 その他（意見交換等）

- ・事務局の吉村氏より「地域情報ブック」について説明。  
昨年より、各地域包括支援センターの担当者が市内の社会資源に関する情報をまとめた冊子を作成した。支え合うきよせ委員会の1つの成果物として、地域情報ブックをケアマネジャーなどに配布することができればと考えている。  
⇒8月の本会議に諮ることを確認。

3 今後の予定

(1) 次回部会開催日程

- ・ 8月17日（木）13時～15時

(2) 地域団体との意見交換会日程

- ・ 旭が丘
- ・ 中里一丁目
- ・ グリーンタウン清戸（8/21～23）

- ・ 梅園白梅自治会等

(3) 本会・部会

- ・ 8/24（木）13時半～15時半 コミュニティプラザひまわり